

特集

しゃきよんが駆ける！輝く市民にインタビュー

● きらめき久美ファーム～農福連携～ ● 「お弁当を作りたい。」～要介護5からの挑戦～

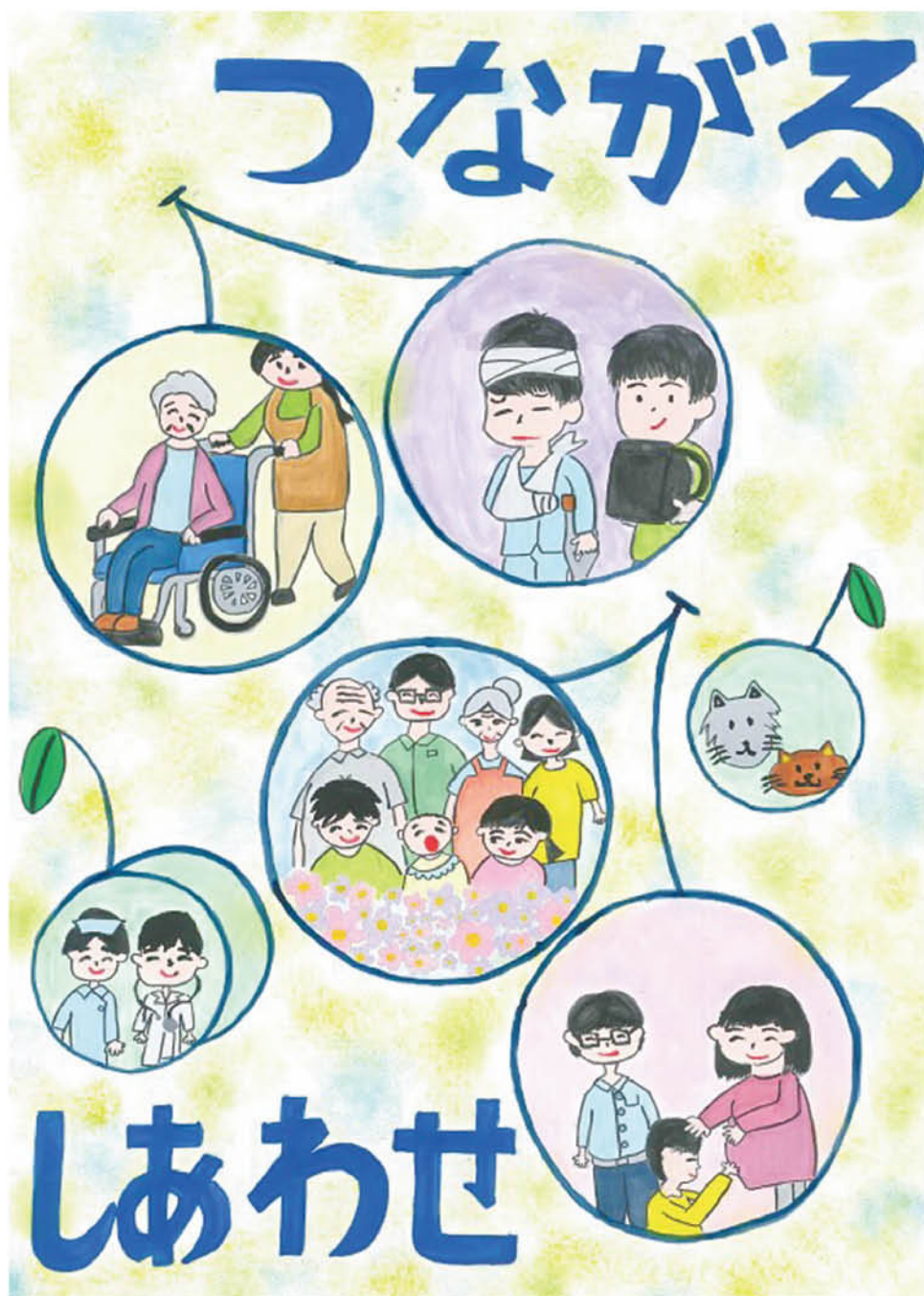
令和4年度
ふくしポスター

👑 最優秀作品

小笠原小学校 5年
ま せ ゆうと
間瀬 悠斗さんの作品です

ふくしポスター
入賞者発表です！

子ども達が考えた
色とりどりの
ふくしが見えます！





赤い羽根共同募金

じぶんの町を良くするしくみ。



共同募金は、戦後間もない昭和22(1947)年に、市民が主体の民間運動として始まりました。当初、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、法律(現在の「社会福祉法」)に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。

皆様からの善意は子どもたち、高齢者、障がい者などを支援するさまざまな福祉活動や、災害時支援に役立てられます。社会福祉協議会の様々な事業も共同募金の配分を受けて行っております。



令和4年度
赤い羽根共同募金
街頭募金の様子▶

皆様からの善意のご協力ありがとうございます
(共同募金南アルプス市支会事務局より)

令和4年度赤い羽根共同募金中間報告(令和5年1月31日現在)

募金種別	金額(円)	説明
家庭募金	9,256,416	自治会長・組長さんのご協力で、市内の各世帯へお願いしたものです
街頭募金	10,793	店頭や社協のイベント等で行った募金です。
大口募金	1,310,333	市内の企業・団体からいただいた募金です。
職域募金	745,597	事業所・職場等で行われる自発的な募金です。
特殊募金	93,850	小・中学校の児童会・生徒会、高校等学校単位等で集める自発的な募金です。
自動販売機募金	10,395	自動販売機の売上の一部が募金になります。(設置場所:社協本所、デイサービスゆうかり)
合計	11,427,384	

令和4年度 社協会費 中間報告

(令和5年1月31日現在)

皆様からの社協会費へのご協力ありがとうございます

今年度も、多くの方から社協会費へのご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

南アルプス市社会福祉協議会では基本理念である「わたしがつくる みんなでつくる 住民自立のまち」を進めていくために、社会福祉事業の財源として様々な事業に活用させていただいております。

区分	地区	金額(円)
一般会員 (自治会)	八田	1,629,500
	白根	4,781,500
	芦安	90,000
	若草	2,458,000
	櫛形	4,504,000
	甲西	2,997,000
	合計	16,460,000

	金額(円)	説明
一般会員	307,000	社会福祉事業を行う個人・団体
賛助会員	159,000	社会福祉協議会の趣旨に賛同する個人・団体
合計	466,000	

共同募金の配分金や社協会費を財源として、地域福祉を推進しています

- ふくしのこころを育む事業 ●ボランティア事業
- 地域交流拠点事業 ●高齢者おやつサービス事業
- ふれあい・いきいきサロン助成事業
- みんなで地域をよくする事業
- 社会福祉大会開催事業 ●福祉車輻貸出事業
- 地域における減災・防災のまちづくり事業
- 広報誌(ボランティア情報、社協だより)発行事業 ほか



▲小学校での車椅子体験の様子



▲ボランティアフォローアップ研修の様子





特集

しゃきょんが駆ける! 輝く市民にインタビュー

農業 × ふくし × 地域

～わたしにもできること～



R4年度社会福祉大会第2部講演講師

きらめき久美ファーム

山田 久美子さんに聞きました!



山田さんは、どんな活動をしていますか?

山田: 私は、南アルプス市内で畑を借りていて、ぶどうやさつまいもなどを作っています。そこに、障がいを持った方や、ひきこもり状態であった方にも来ていただいで作業を一緒にしています。

なかには、お話をすることが難しい方がいましたが、農作業と言葉だけではなく、通じるものがあり、一緒に空間で作業をすることで、その方も元気になり、周りも一緒に元気になれるという事もあります。農業とふくしを掛け合わせた農福連携の活動をしています。



活動のきっかけはありますか?

山田: 私自身が、地域や周りの方にすごくお世話になったので、私自身も何か地域でできることがないか考え、今の活動につながっています。また、ある活動から、困りごとを抱える方の環境を知り、考える機会がありま



みんなで育てた さつまいも



これからの意気込みを教えてください

山田: その方が「誰かに相談したかった。」と言ったことが心に残り、地域につながるの場を作ることができないか?と考える、いろいろな活動をしたいと思っています。

山田: 地域支えあい協議体(おちえーささえ愛応援団)にも参加し、さつまいもを育て、焼き芋大会をしたり、農福連携で作った野菜を学校給食の食材で出していきたいと思っています。農福連携の活動が社会に広がれば良いと思っています。ですが、最終的には、あえて農福という枠にとらわれず、だれもが活躍できる社会になればいいと考えています!



肥料をまく作業



子どもから大人まで楽しんで活動!!





しゃきんが駆ける! 輝く市民にインタビュー

「お弁当を作りたい。」～要介護5からの挑戦～

川村 明美さんに聞きました!

川村さんは、50代前半に脳梗塞の後遺症により、全介助の状態で、医師からも「再起不能ではないか。」と言われてしまいました。しかし、持ち前の明るさをご家族の協力のもと、前向きな気持ちで介護サービスなどでリハビリを続けられ、今もできることが増えています。そんな川村さんに、今までの事やこれからの目標を聞かせていただきました。



川村：こんにちは。まずは、川村さんがどんな方なのか知りたいです。子どもの頃はどんな子だったのですか？

川村：小さい頃は、近所の子を集めては遊んでいました。小さい子が大好きで、夢は保育士になることでした。しかし、勉強が嫌いで大学に進学せず、高校を出て東京の会社に就職しました。

体を動かす事が好きで、小学校5年生から高校3年生までバスケットボールをしていました。大人になり、友人に再会した時も、「足の速い明ちゃん(明美さん)だね?」と声を掛けられるほどでした。



子どもの頃の川村さん

川村：その後は、どのように過ごされたのですか？

川村：東京に就職してから、友人の紹介で主人と出会いました。主人からスキー、ゴルフ、卓球、テニス、バドミントン、登山などを教えてもらい、自分でも水泳、テニスをしていました。友人に誘われて太極拳も習い始めました。

川村：すごく活発で、いろいろなことに挑戦していったんですね。そこから、病気になるってしまった経緯を教えてください。

川村：子どもが少し大きくなった頃、病気になるってしまいました。子どもの少年野球の手伝いをやっていた頃、家にも頭痛が痛い症状がありました。その時は、原因はメガネをかけているからだと思い、外で頭痛がある時には車の中でよく寝ていました。

ある朝、いつものように会社に着いたら、頭が痛くなり倒れてしまいました。同僚の「家族に電話して…」と言う声が聞こえ、救急車で運ばれました。MRIを撮るのに、私は暴れていたそうです。診断結果は脳梗塞でした。後遺症により、自分で体を動かすことが難しくなり、全介助の状態で、医師からも「再起不能ではないか。」と言われてしまいました。

川村：大変だったんですね。そこからはどのように回復してきたのですか？

川村：救急搬送された脳外科から南アルプス市内の病院に転院しリハビリを続けました。徐々に経管栄養のチューブが外れたり、背もたれの大きな車いすから、普通の車いすになったりと少しずつ回復しました。食べる練習のリハビリの時は、看護師の方に「甘いおやつから試してみようか?」と言われ、とても楽しみでした。


…今は、どのように過ごされていますか？

川村：リハビリを続けたり、デイサービスに通ったりしています。デイサービスの後は洗濯物が出るので、自分で洗濯物を干して畳むまでしています。料理はヘルパーさんの介助もありますが、パンを手でちぎる作業や、さつま揚げ、はんぺんなど軟らかいものは自分で包丁で切っています。また、障害サー

ビスの就労継続支援B型で作業所に通い、ケチャップなどの容器を作る作業をしています。



容器を作る作業

…ご家族や、友人のつながりはどのような感じですか？

川村：主人は介護なんて無縁だったのに、私のオムツを替えてくれました。家の家事も、私がミキサー食の時からご飯を作ってくれたり、掃除・洗濯・布団干しなどしてくれるので本当に感謝です。

10代の息子も便のオムツを替えてくれました。これには主人も「よくやるな」と感心

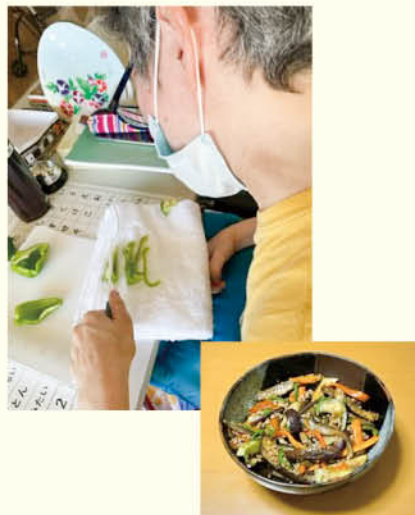
していました。今では息子自身自分でお弁当を作ったり、洗濯したり本当によくやってくれています。

川村：病気になる前は地域の組の行事にも良く行っていました。また、友達が毎日病院に会いに来てくれて、毎回手や足をマッサージしてくれたり、時には花を持ってきてくれたりしました。ある友達は「人間は皆、半分不幸、半分幸せの平等なんだって。信じるか信じないかはアケ(明美さん)次第だよ」と言ってくれました。私が仕事や洗濯が出来るようになったのは、家族、友達、ケアマネジャーさん、デイケアなどの職員さんと、本当にいい方たちと出会えたからだと思います。

倒れる前、新聞の折り込みに「布の寄附を募集しています」と、ある施設の記事が載っていました。それを見て、家も片付くと思い、寄附をした施設が、今お世話になっている施設(一時的な泊りのサービス)です。こんな風な点と点が一本の線になったと感じます。毎日病院に来てくれた友達は、この施設にも私がいる時に来てくれます。マスク不足の時には、手作りマスクを持って面会に来てくれたり、もう一人の友達は、買い物を頼めば家に届けてくれます。私はこのような人たちに囲まれて本当に幸せ者です。

…これからやりたいこと、目標などを教えてください。

川村：家族、友達、ひいては自分のためにも、杖を使ってでも一人で歩けるようになって友達に会うことが目標です。最近、要介護5の判定から要介護4になりました。1時間半かかりましたが、マーボー茄子を作ることが出来ました。



やっと作れたマーボー茄子

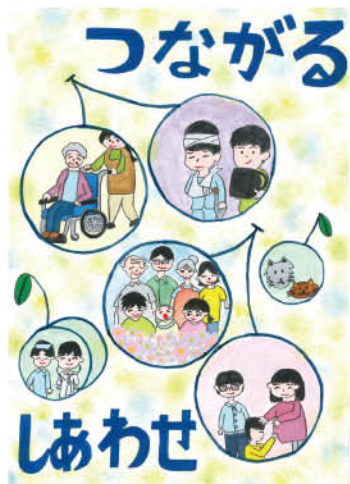
「そして最後の一日でもいい、息子に家族にお弁当を作りたいです。」



笑顔でインタビュー
ありがとうございました。

おめでとうございます

令和4年度 ふくしポスター 入賞者発表!



👑 最優秀作品

南アルプス市の特産品さくらんぼで人と人とのつながりをイメージしました。

小笠原小学校5年
ませ ゆうと
間瀬 悠斗さん



「わたしのふくし・未来のふくし」をテーマに、市内の小中学生に募集したところ、気持ちのこもったポスター1,130点が寄せられました。厳正な審査の結果、10名の入賞作品が選ばれました。コメントと共に掲載させていただきます!



優秀賞

色々な人がくらしやすいようにしたいという
感じで書きました。

若草中学校3年
いのうえ みずき
井上 瑞葵さん



優秀賞

やさしい、しあわせな気持ちをゆめ色のユニコーンにしてあらわしました。

小笠原小学校2年
ませ あんな
間瀬 杏南さん



優秀賞

いつも、えがおでいられるようににこにこした
絵にしました。

白根百田小学校4年
すぎうら めいさ
楳浦 明咲さん





佳作

家族の絵です。笑顔の写真をとっています。

大明小学校1年
もちづき なぎさ
望月 渚沙さん



佳作

人はみんな支えられて
生きているので、いろ
んな人が支えあってい
る様子を人という文字
と絵であらわしました。

豊小学校4年
たなか ゆう
田中 悠楓さん



佳作

明るい未来を想像した。

白根御勅使中学校2年
よねやま そうたろう
米山 蒼太郎さん



佳作

ひまわりを一生けん命
育てました。未来がひ
まわりのように、あた
たかくかがやきますよ
うに。

白根東小学校3年
なかごみ せな
中込 惺七さん



佳作

誰とでも手を取り合って助け合える。

八田小学校4年
しみず ゆうか
清水 優香さん



佳作

私たちが大人になっ
て、何年先も、あつた
か色の町づくり(あた
たかい家族の形)が繋
がっていくよう、気持
ちを込めて、作品を制
作しました。

白根巨摩中学校3年
いいの ひより
飯野 日陽さん



たくさん
のふくしポスターの応募
ありがとうございました。



山梨県社会福祉協議会会長表彰・感謝状

令和4年10月27日(木)に開催された山梨県社会福祉大会において、南アルプス市から次の方々を受賞されました。(順不同・敬称略)

民生委員・児童委員表彰

- 長田 悦子(南アルプス市民生委員・児童委員協議会)

民間社会福祉施設表彰

- 小林 信(社会福祉法人光明会榊形荘介護老人福祉施設)

民間福祉団体表彰

- 窪田 陽子 ●塩田 直輝
(社会福祉法人南アルプス市社会福祉協議会)

金品寄付・労力提供

- 若草生涯学習センター指定管理者シャンブレイ

南アルプス市社会福祉協議会会長表彰・感謝状

令和5年1月29日(日)に開催された南アルプス市社会福祉大会において、次の方々を受賞されました。(順不同・敬称略)

民生委員・児童委員功労

- 今村 幸治 ●戸澤 英子 ●内田 誠
(南アルプス市民生委員・児童委員協議会)

民間社会福祉施設・団体役職員功労

- 阿部 美佳 ●井上 慶子 ●小野 将雄 ●野中 達也
(社会福祉法人八十八会)
- 小林 由紀 ●渡邊 瑞樹 ●秋山 かおり
(社会福祉法人南アルプス市社会福祉協議会)

社会福祉協議会役員功労

- 有野 敏也 ●滝沢 卓夫
(社会福祉法人南アルプス市社会福祉協議会)

金品寄付・労力提供

- トヨタ自動車東日本労働組合
- 榊形環境とリサイクルの会
- 南アルプス市グラウンド・ゴルフ協会 榊形支部



評議員の紹介

新たに評議員に選任された方をご紹介します。(敬称略)

- 有野 正樹(白根) ●藤巻 秀子(榊形) ●内藤 傳二(市全域) 任期…令和7年定時評議員会まで

善意によるご寄附ありがとうございました

ご寄附いただいた金品は貴重な財源として社会福祉事業推進に役立たせていただきます。

(順不同)

(令和4年7月1日~令和5年1月31日までのご寄附)

ドウオ・ルイス・カルロス 様……………もち米20kg
中野支えあい協議体 様……………古布
保坂 良美 様……………手づくり袋13個
望月 正吾 様……………タイヤ4本
望月 清子 様……………リハビリ棒200本
JA南アルプス市女性部 様……………食料品、日用品
清水 琴江 様……………10,000円
南アルプスライオンズクラブ 様……………食料品、日用品、古切手
青柳 定子 様……………手編み帽子10個
匿名……………100,000円
法源寺正法講 様……………30,000円

雨宮 公子 様……………50,000円
農林漁業団体退職者連盟
巨摩野支部 様……………90,281円
三恵地区愛育会 様……………タオル5箱分
田中 良子 様……………絵本15冊
山城 澄子 様……………帽子・靴下16枚
藤田浅原地区愛育会 様……………タオル2箱分



中野支えあい協議体 様



南アルプスライオンズクラブ 様 JA南アルプス市女性部 様



藤田浅原地区愛育会 様

社協について

ご意見ご感想をお寄せください

〒400-0332 山梨県南アルプス市鏡中條1642-2
南アルプス市社会福祉協議会「社協 意見・感想係」

e-mailでも受け付けます。

info@minami-alpsshakyo.or.jp



【発行】

ホームページ



南アルプス市社協
ホームページの
QRコードはこちら



フェイスブック



南アルプス市社協
フェイスブックの
QRコードはこちら



最新情報もこちらから ▶

南アルプス市社協

検索

社会福祉法人 南アルプス市社会福祉協議会 〒400-0332 山梨県南アルプス市鏡中條1642-2
TEL:055-283-8711(代) FAX:055-283-4167 URL <https://www.minami-alpsshakyo.or.jp/>

この広報誌には赤い羽根共同募金の配分金と社会福祉協議会の会費が充てられています。